**令和3年度 版画学会 夏季総会　議事録**

日時：令和3年7月25日（日）

夏季総会：14：00～16：00（Web会議）

議長：会長倉地比沙支（愛知県立芸術大学）

議事進行：事務局長井出創太郎（愛知県立芸術大学）

出席者67名、委任状180名で合計247名となり、会員総数385名（７月現在）の過半数を超え総会は成立した。

**議事内容**

**1. 会長挨拶** （倉地比沙支）

今年度は大学版画展の上田市美移行期であり、町田市美は町田市との協議などで予算や改修の予定が不透明な状況であることを考慮し、今後の開催地や運営の合理化と予算案の再考が必要であるため、以下の点について審議を行なった。

◯委任状の扱いについて確認（会長）

審議事項承認の可決は、議長の会長をのぞく総会出席者の過半数とする。＜賛成多数＞

◯2023年まで上田の方針でよいか（会長）

 ・2023年まで上田開催に賛成か　＜賛成多数＞

 ・2024-26年も上田開催を要望するか　＜賛成多数＞

**決定事項　2023年は上田市立美術館での開催をめざす。**

**2024,25年上田開催での方向性を確認。**

◯学会誌のpdf化（会長）

＜賛成多数＞

**決定事項　PDF化と小ロッド印刷・毎年50冊程度、保管も用意　2021年より施行**

◯受賞者の賞金をなくすべきか（会長）

運営委員会で却下となった。次年度再提案の予定。現在の財務状況を鑑み会費値上げも視野に入れている。**ただし出品数変更に伴い受賞者は25名とする。**

　　　　〇**「全国大学版画展実行委員会」の設立**（事務局）

上田市立美術館での全国大学版画展開催にあたり、「全国大学版画展実行委員会」を新設し、当実行委員会は上田市と版画学会による共同出資金（版画学会500,000円、上田市1,650,000円）をもって運営することを、規約（名簿を含む）及び予算案を提示し説明。

**2. 学会事務局（愛知県立芸術大学）**

**2-1 【審議事項】令和3年度予算案** （倉地比沙支会長・事務局長）

・会長、事務局長より表記の件について説明がなされ、承認された。

前年度繰越金2,301,937円。次年度繰越金2,504,437円。＜収入＞全国大学版画展出品校負担金180,000円。＜支出＞学会事務局　会議費・郵送費・事務費・展覧会連携運営費・ホームページ管理費680,000円、賞金費250,000円。展覧会実行委員会　展覧会費用（大学版画展実行委員会へ出資）500,000円。版画学会誌編集部門学会誌作成費372,500円、学会誌印刷費100,000円。特別企画研究部門円デジタルアーカイブ化事業0円。予備費200,000円。

〇「全国大学版画展出品校負担金」について

全国大学版画展に出品する各校の出品数を基に算出した「出品校負担金」を、各大学が拠出する案を提示（会長）。

**決定事項　各大学出品者1名につき、1000円　2021年度より施行**

〇賞金費について：出品数に伴い受賞者は25名となったことによる予算計上。

〇展覧会費用について：前年度決定事項。

〇特別企画研究部門円デジタルアーカイブ化事業について：今年度中止（【審議事項】令和3年度計画 参照）

〇学会誌印刷費について：小ロッド印刷が承認を得たことで決定事項となる。

**2-2 【審議事項】新入、退会、除籍、賛助会員、名誉会員等の動向**

・事務局長より表記の件について説明がなされ、了承された。

入会希望　７名、所属先変更1名、退会希望５名、除籍３名、住所不明5-6名(要確認1名)

**2-3 【報告】令和2年度決算報告** (前事務局会計　森本玄先生)

・前年度会計担当の森本運営委員より、表記の件について説明がなされ、確認。

**3. 展覧会実行委員会**

**3-1 全国大学版画展部門**（女子美術大学）

**【報告】第45回展報告**（清水美三子副会長）

・清水副会長より表記の件について報告資料を基に報告され、確認。

■展覧会運営について

● 会期日程: 2020年12月5日（土）～12月20日（日）

● 参加校/出品点数：43校/98点（昨年度47校/225点）

● 役割分担

展覧会事務局：女子美術大学/ポスター制作：町田市立国際版画美術館/DM制作・発送：女子美術大学/搬入、展示陳列、収蔵賞受賞作品撮影、梱包撤去、搬出：女子美術大学・多摩美術大学・東京藝術大学・東京造形大学・日本大学・武蔵野美術大学（教員•スタッフ•学生の総数120名）

●新型コロナウイルス感染症対策による縮小開催の主な変更点

・〈出品点数〉例年の４割程度（100点弱）に減らした。それに伴い、第１企画展示室のみで展示を行った。/〈学生作品販売〉開催なし。/〈特別展示〉なし。/〈授賞式〉中止。/〈レセプション・公開セミナー〉イベントの開催なし。/〈搬入・陳列・撤去・搬出日〉作業日を増やすことで作業人数を分散させ、三密を避けた。/〈会場受付・監視〉外部委託により、学生会場当番なし。/〈優秀賞の投票方法〉例年の美術館での「投票」は行わないこととした。 展覧会事務局とは別に会長が優秀賞検討部会を設け、web上での投票数の管理から、賞の決定まで行なった。

【賞】 ● 優秀賞：18名 ● 町田市立国際版画美術館賞：7名

【観客賞及び、プレゼント作品寄贈の方々 】 ・観客賞：田代 ゆかり《ナイトウォーク》（福岡教育大学） ・プレゼント版画：アンケートにご協力いただいた来場者の中から抽選で5名に以下の版画 学会会員から寄贈を受けた作品をプレゼントした。 プレゼント作品寄贈：池垣 タダヒコ(京都精華大学)、斉藤 里香(女子美術大学)、田中 栄子(京都市立芸術大学)、三田 健志(個人会員)、結城 泰介(女子美術大学)

**【審議事項】第46回展開催計画**（清水美三子副会長、阿部大介先生）

・表記の件について、配布資料を基に説明がなされ、承認された。

■ 上田市立美術館での開催について

1. 出品点数：上田市立美術館の壁面数からの算出をベースにし、１段掛けの余裕のある展示を目指す。出品点数をこれまでの75%程度（240点→180点程度）に減らす。

2. サイズ規定：出品者一人あたり額装の幅120cm以内を厳守。

3. 参加校の出品者数計算方法：参加校の教育活動状況等の変化により、これまでの出品者枠数のルールでは実態にそぐわなくなってきているのが現状である。そのため新たな計算式を作成し、今後はこの計算式 に従って参加校の出品点数を決定する。

**〇第４６回 全国大学版画展出品者数算出について**

**上限 9 名とし、学生数 × 0.25 = 出品者数 出品者数 + 大学院枠１名 + 集中授業枠１名（50 名以上）**

※詳しくは、夏季総会資料【資料3-2-5】(資料4)大学版画展出品者数算出案 2021を参照ください。

※各大学の出品者数は夏季総会資料【資料3-2-6 】(資料5)第46回全国大学版画展出品数検討リスト\_2021を参照ください。

**決定事項　　各校の出品数は、上限 9 名とし、上記算出方法による出品数とする。**

4．賞：「優秀賞」25点程度（2019年度まで→30点程度）/「上田市立美術館賞」１点、賞金1万円 /「町田市立国際版画美術館収蔵賞」10点程度 /「観客賞」１点と「プレゼント版画」は実施。

5. イベント：初日に行なっていた「レセプション」は中止。/「授賞式」は12月19日（日）に実施する予定。

6．学生作品販売の実施：試験的に今年度２校のみ（愛知県立芸術大学・女子美術大学）の参加 とし、来年度以降の実施方法について模索する。

7. 搬入・搬出：業者搬入・直接搬入共に11月27日（土）の一日とする。/開梱と梱包作業は、両事務局の他、関東の美術大学の教員・助手を派遣。/直接搬出が12月20日（月）、業者搬出は搬出依頼日のアンケートを取り、指定日に合わ せた集荷依頼をする（2022年１月半ばまでに完全搬出）。 8. 陳列：学生による陳列作業は行わない。陳列監督として教員２〜３名を派遣し、陳列作業は美術 館が依頼する美術専門員が行う。

9. 会期中の受付・監視 学生による受付・監視は行わない。美術館が監視員を手配する。

【検討事項】優秀賞の投票方法：Web上の作品掲載は行わず、美術館で実際に展示を鑑賞し投票をしてもらう。投票方法は、出品目録への記載でなく、Web上で行う方法を検討中。投票期間は、12月4日（土）〜12月12日（日）までとする。

■会期日程（案）

 2021年12月4日（土）～12月19日（日）9:00〜17:00（入館16:30まで） ※休館日：12月7日（火）・14日（火）

■公開講座・ワークショップ

 〇公開講座【いい加減と緻密さが同居する版画表現】 講師 ：倉地比沙支（愛知県立芸術大学） 開催日：12月4日（土）13:30〜15:00

 〇ワークショップ【美術家から学ぶ「はがし刷りからの展開」】 講師 ：阿部大介（女子美術大学） 開催日：12月11日（土）・12日（日）13:30〜17:00 ※2日間

 ■プレゼント版画作品寄贈作家

上田市立美術館のご希望に沿って依頼する作家５名を選出。

いしだふみ（大阪芸術大学）、清水博文（京都芸術大学）、高浜利也（武蔵野美術大学）、三井田盛一郎（東京藝術大学）、八木文子 （山形大学）

■役割分担

学会事務局と展覧会事務局の他、関東の美術大学を中心に人数の割振り等を行う。 原則として教員・助手のみでの実施。

■第46回全国大学版画展 予算

町田市立国際版画美術館から上田市立美術館に主催が移ったことにより、展覧会事務局 の業務内容及び会計方法が変更となった。今年度展覧会事務局の予算必要なし。

**3-2 学生作品販売部門**

【報告】 学生作品販売について

令和２年度は、【報告】第45回展報告で展覧会事務局から「実施なし」と報告。

令和３年度は、【審議事項】第46回展開催計で 、展覧会事務局より「試験的に今年度２校のみの参加」とする説明がなされた。

**4. 学術研究委員会**

**4-1 版画学会誌編集部門**（遠藤竜太編集長）

**【報告】49号報告**

・表記の件について報告がなされ、確認。

表記誤り（×研究報告→〇論文）が確認されたため、HP掲載のPDFの修正及び執筆者用に抜き刷り印刷をおこなった。印刷費は予備費からの支出とした。

**【審議事項】50号計画**

・表記の件について説明がなされ、承認。

■2021年度学会誌の内容　(予定)：　特集「プリント・イノベーション②」３名/制作報告10名程度/論文３〜４名/研究報告４名程度/トピックス２名程度

■スケジュール：2021年7月1日〜8月10日　応募期間（登録）/2021年11月1日　論文、研究報告、トピックス　原稿締め切り/2021年12月18日　特集、制作報告　原稿締め切り/2021年11月1日〜　査読・校正・デザイン/2022年3月1日　2021年度学会誌発行

■2021年度学会誌予算：デザイン料（3000円／1P×ページ数＋諸経費＋レイアウト見本）：350,000円/雑費（オンライストレージ追加など）：5,000円/外部査読謝礼： 20,000円（10,000円／1件×2件）

※印刷費については、小ロッド印刷に変更となったため修正が説明された。

■021年度編集委員会体制編集委員長 ：遠藤竜太（武蔵野美術大学）全体ディレクション・企画編集/

編集委員会担当校 ：京都市立芸術大学（代表：吉岡俊直）寄稿募集・原稿管理・デザイン・印刷などの実務

編集委員 ：各地域ブロックにおける寄稿者への依頼、原稿管理、校正など

・北海道・東北ブロック: 結城泰介（東北芸術工科大学）・関東ブロック：笹井 祐子（日本大学）古谷博子（多摩美術大学）・中部ブロック：片山浩（名古屋芸術大学）・関西ブロック：田中栄子（京都市立芸術大学）・中国・四国ブロック : 平木美鶴（徳島大学）・九州・沖縄ブロック : 加藤恵（九州産業大学）

**4-2 特別企画研究部門 デジタルアーカイブ化事業** （中村桂子先生、 蜂谷充志先生）

**【報告】令和2年度報告**

・表記の件について、配布資料を基に報告され、確認。

■画像照合作業について

撮影画像と作品リストとの照合作業 ・第１回展（1976 年）〜第 32 回展（2007 年）受賞作品の撮影画像 1,096 カットについて、 デジタル画像と作品リストとの照合作業を⾏った。このうち 121 件については、題名や作者名が画像から正確に判明できない等の理由で照合 作業が完了できていない。再度、作品を実⾒する必要がある。

■照合作業におけるアルバイト任⽤報告

照合作業に関して、前年度撮影時のアルバイトに再度要請、照合作業をお願いした。

■基本データ（作品リスト）の課題について

第 4 回展（1979 年）受賞作については、町⽥市⽴国際版画美術館へ作品が移管された当初からリストがない。作品に記載されたデータから判明した分についてはリスト化できているが、当時のリストを調査する必要がある。複数のシートなどで構成される作品のうち、展⽰⽅法（並べ⽅）が判明できないものがある。当時の資料などを調査して、画像の組み合わせを確認する必要がある。展覧会の開催年ごとに技法の表記⽅法が異なるため、データベース化する際に⽀障がある。・同⼀⼈物でありながらも、作者名の表記が異なる場合がある

**【審議事項】令和3年度計画**

表記の件について、配布資料を基に説明され、承認。

データ内の版画技法の表記が多岐に渡るため、受賞年と大学名と氏名で検索できるようにシステムを構築する見通しを説明された。また、倉地会長から今年度は上田市美術館での大学版画展開催に集中するため、事業を休止し、来年度から再開する説明がなされた。

**5. その他**

**5-1 【審議事項】名誉会員細則について**（笹井祐子）

表記の件について、配布資料を基に説明がなされた。会員から年齢や権限についての指摘があり、その点について部会で検討し、定期総会に審議事項として再提出することとなった。

**5-2 【方向性を探る意見交換】全国大学版画展の中期的展望について**（会長）

表記の件について、会長より説明がなされ、意見の交換が行われた。上田市美術館での展示方法についての意見交換がされた。

以上